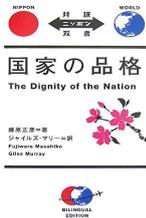


MLL Vol.2

こんにちはMICです。

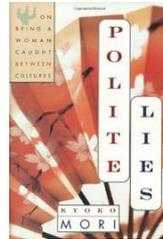
愛媛では、短い梅雨が明け、暑い夏が始まろうとしています。暑いこの時期はお家で過ごすことも多いのではないのでしょうか？こんな時こそ、涼しい場所で本を読んでみませんか？今月もおススメの本を紹介します！



『国家の品格 対訳ニッポン双書』

言語：日本語・英語 日本論

日本でベストセラーになった「国家の品格」。読んだことがある方もいるのではないのでしょうか？今回紹介するのは「国家の品格」の対訳本です。オリジナルの一部が修正・加筆され、英語の対訳が見開きで載っています。話の内容も興味深いのですが、何より対訳として書かれている日本の独特な表現や言葉の英訳が、とても勉強になります。英語と日本語は違う言語です。その為、日本語では1単語として存在しているものが、英語に存在しているとは限りません。特に日本の文化や歴史を英語で説明する時に、表現に悩む人もいます。そんな時に使える表現のヒントをこの対訳から学んでみませんか？



『POLITE LIES』

言語：英語 エッセイ

この本は日本出身のモリ・キョウコさんが、自身の経験に基づいて書かれた、エッセイです。彼女は日本の高校を卒業後渡米し、その後日本に戻ることなくアメリカで生活することを選びました。この本で綴られているのは、日本文化とアメリカ文化の比較です。彼女がそれぞれの違う地で生活して気付いた、物事の伝え方や、主張の仕方、考え方の違い、それに伴う彼女の心境が語られています。彼女の過ごした時代を考えると、彼女の主張する日本の文化は、少し古い物かもしれません。ですが、異文化理解を考える上で、両方の文化に触れてきた彼女の意見は非常に興味深いものです。タイトルの示す『嘘』についても考えながら読んでほしい一冊です。



『ロシア兵捕虜が 歩いたマツヤマ』

言語：日本語 歴史

松山に住んでいる方の多くが、ロシア人墓地の存在をご存知でしょう。先日、英語のボランティアガイド講座を受講されている方と、ロシア人墓地へフィールドワークに行きました。また映画「ソーローキンの見た桜」でも松山のロシア人捕虜収容所の話が話題となりました。しかし、実際にロシア人墓地に行ったことがある方や、捕虜収容所の詳しい歴史をご存じの方は、少ないのではないのでしょうか。この本では松山捕虜収容所の実態や捕虜の方々の様々なエピソードが語られています。この本を通して松山とロシアの歴史を学ぶと同時に、実際にロシア人墓地を訪れて欲しいと思います。



『誰も知らない世界 のことわざ』

言語：日本語 絵本

ことわざにはその国の気候、習慣、文化が反映されています。その為、ことわざの直訳だけを聞くと、意味がわからなかったり、とてもおかしいと感じます。私たちには馴染み深い日本語のことわざも、外国人にとってみれば、きっとおかしいのでしょう。

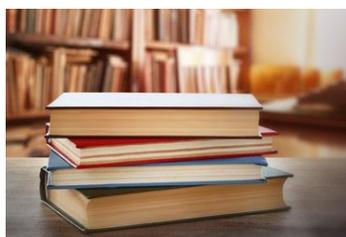
この本では44言語、51個のことわざが紹介されています。知っていることわざや言語だけでなく、初めて目にすることわざや、言語もたくさんあるでしょう。その国の文化が色濃く出ることわざを学ぶことは、知らない国の文化や言語を知る良いきっかけになるのではないのでしょうか？関心をもった言語や国があったら、是非調べてみてください。

いかがでしたか？興味のある本はありましたか？

他にもたくさん本がありますので、是非MICの図書コーナーに足を運んでくださいね。

本の貸し出しを希望する人は登録が必要です。

1階のMICカウンターまで来てください。



お問い合わせ先
まつやま国際交流センター
〒790-0003
松山市三番町6丁目4-20コムズ1階
TEL：089-943-2025
FAX：089-931-2041
E-mail: mail@mic.ehime.jp